
血液透析患者におけるL-カルニチン静注投与の心機能への効果

医療法人衆和会 長崎腎病院

○井手真吾 林田征俊 矢野利幸 高木伴幸 澤瀬健次 河津多代 戸村秀志 山口貢正 原田孝司
船越 哲

【背景】

透析患者は、透析によるカルニチン除去を食事による供給で補いきれず、カルニチン欠乏状態に陥っている事が知られている。

【目的】

L-カルニチン補充療法により心機能の維持改善効果を検討する。

【対象】

心疾患を有する当院維持血液透析患者 27 名(男 18 名、女 9 名)

【方法】

L-カルニチン 100mg5ml を週 3 回投与し、投与 1 年前、投与開始前、投与開始 6 ヶ月経過時点での心エコー検査でのパラメータを検討する。

【結果】

心エコー検査では LAD は投与前 1 年間で有意な上昇が認められ($P=0.02$)、EF、LVDd、E/A、E/e'、LVMI は投与前1年間、投与 6 ヶ月間ともに有意な差は認められなかった。

【考察】

L-カルニチンを静注投与することによって、心疾患を有する維持血液透析患者の心機能を維持させる可能性が示唆された。今後も投与量や投与期間の検討を続けたい。